

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	21226018	研究期間	平成21年度～平成25年度
研究課題名	ペタフロップス級計算機に向けた次世代CFDの研究開発	研究代表者 (所属・職) (平成26年3月現在)	中橋 和博（宇宙航空研究開発機構・航空本部・本部長）

【平成24年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A- 当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

(意見等)

ペタフロップス級計算機でのCFDアルゴリズムであるBCMの技術開発研究は、多くのシミュレーション研究分野において様々な応用が見込まれ、非常に貴重な研究である。本研究は、有効な研究計画に沿って実施され、期待される有益な研究成果を得ていると評価できる。また、今後2年間の研究計画では、アルゴリズム開発や実証実験の研究計画が着実に実施され、当初の研究計画どおりの研究成果は達成すると期待できる。

【平成26年度 検証結果】

検証結果	研究進捗評価結果で見込まれたとおりの研究成果が達成された。
A	本研究により提案手法が更なる発展を遂げ、将来のスーパーコンピューティングの中核ソフトウェアの1つとなり得る可能性を示すことができ、目標は達成されたと評価する。 目標の1つであった人材育成という観点でも成果が上がったものと判断される。 目標未達成ではないが、基盤研究（S）の成果としては、学术论文や学会発表数が少ない点が気になった。研究代表者の所属機関の異動や当初所属機関における震災の影響などで生じた遅れも想定されるが、研究終了後もより広く成果を公表する努力を継続していただきたい。